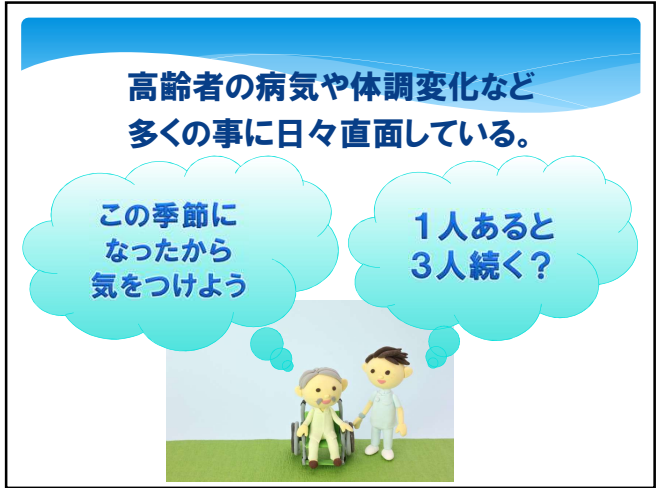


# 高齢者における 病気と季節の関係性

関連してあるの？



## 特別養護老人ホーム 静光園

■入所者	130名	} 合計150名
■ショートステイ	20名	
■平均介護度	3.70	
■最高齢者	104歳	
■平均年齢	88.4歳	

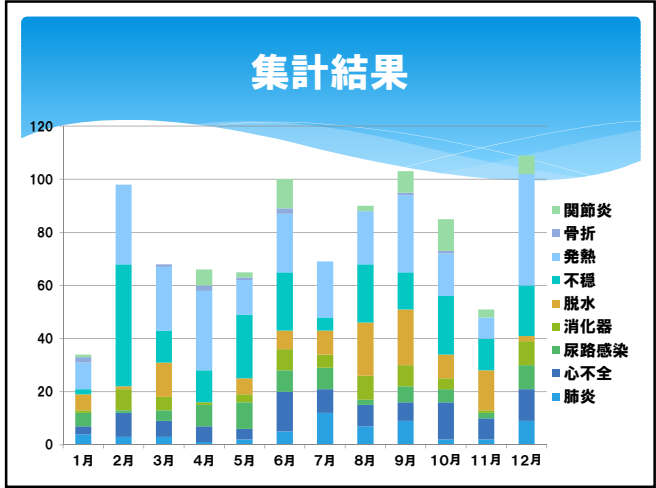
(平成28年4月1日現在)



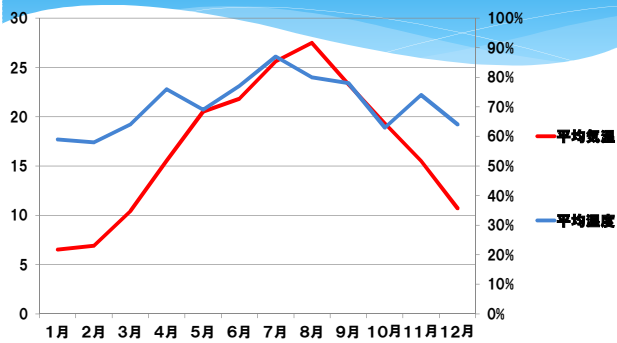
## 症状別に選出・集計した

平成27年1月～12月  
週2回の嘱託医の診察のデータから  
症状別にカウントし統計をとった。  
<選出した9項目>

- \* 肺炎
- \* 尿路感染
- \* 脱水
- \* 不穩
- \* 発熱 (2日以内で解熱したもの)
- \* 心不全
- \* 消化器症状
- \* 骨折 (ヒビや疑いも含む)
- \* 関節痛



## 平成27年 浜松市の気温・湿度



## 統計から見てきたもの

以下の項目において興味深い傾向がみられた。

肺炎

尿路感染

脱水

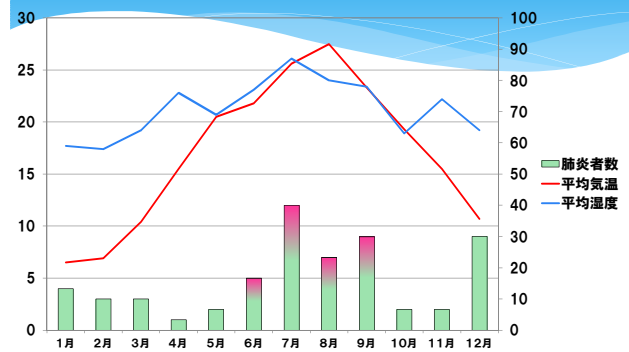
発熱

## 肺炎

冬になるイメージがありませんか？

結果は・・・6～9月に多い

## 肺炎



## 肺炎

温度・湿度が高くなる

↓  
体力がおち、嚥下機能が低下

↓  
誤嚥をしやすくなる

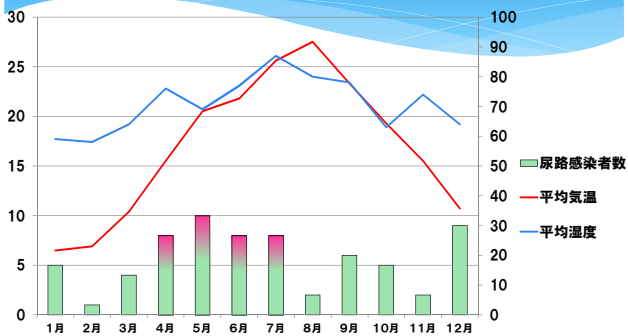
↓  
肺炎を起こした人が増えた

## 尿路感染

真夏や真冬になる  
イメージがありませんか？

結果は・・・4～7月に多い

## 尿路感染



## 尿路感染

真夏は水分補給に注意する意識が高い（真冬も）

しかし

季節の変わり目は注意がおろそかになりがち

↓  
水分不足・不感蒸泄

↓  
尿路感染者数が増えた

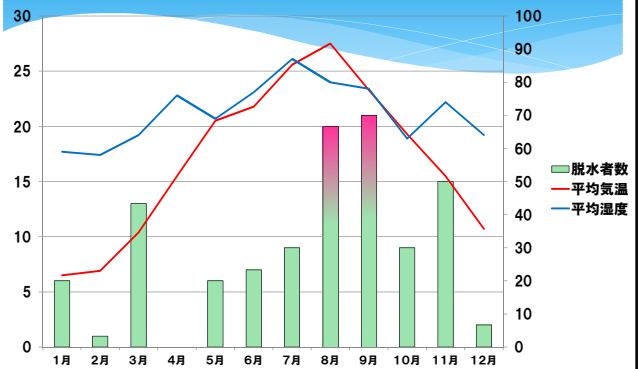
## 脱水

夏になるイメージがありませんか？

結果は・・・8～9月に多い

意識を高くもち、水分補給を心がけていても  
高齢者は夏場脱水をおこしやすい  
更なる注意が必要！！

## 脱水



## 発熱

暑い季節やカゼがはやる時期に  
多いイメージがありませんか？

結果は・・・1年通して多い

『夏なのにセーターの重ね着』  
『真冬なのにすごく汗をかいている』  
このような高齢者を見かけませんか？

## 発熱

体温を一定に保つ  
機能の衰え

布団などの掛け物により  
体温が上がりすぎる

寒暖を感じる  
機能の衰え

衣服の適切な調節が出来ず  
体温が上がりすぎる

1年通し発熱が多い

### 考察① 季節との関係性

今回統計をとる事で

- ・肺炎…6～9月
- ・尿路感染…4～7月
- ・脱水…8～9月
- ・発熱…季節に関係なく通年

どの病気が、どの季節に多いかが分かり、イメージとは違う結果も出た。

### 考察② 早期発見・予防

症状が出ると

意識・観察

↓  
情報収集

他の方に症状がないか

↓  
注意喚起・観察

↓  
早期発見・予防

### 考察③ 水分の重要性

高齢者にとって  
水分補給が何より重要で  
ポイントとなるか  
再認識した。

### 今後の課題

高齢者の病気の特性について理解を深めていき、更に今回のデータや気づきをもとに季節・温度・湿度・環境との関連にも着目していきたい。

一年間の統計ではその年の天候・温度・湿度などの環境によるものや、入所者の介護度・年齢・基礎疾患などで左右されることから、引き続き統計を取り、より確実な**早期発見につながる資料**としていきたい。

### おわりに

今回の研究をするにあたり最初は統計をとり、どのような病気がいつ多いのか、なぜ同じ症状が続くのかを知る事が出来れば良いと思っていた。

研究を進めるにつれ介護職の皆さんが体調不良の兆候に気付いてくれている事の多さを改めて感じた。

排泄介助時

↓  
尿の性状・体熱感

↓  
発熱・尿路感染

食事介助時

↓  
飲み込み・量の低下

↓  
誤嚥・発熱・脱水

↓  
日々の変化に気づき情報をくれるのは  
介護職の皆さん

## 素敵な人生を

私達が関わらせていただく  
すべての高齢者が  
「幸せだった、楽しい人生だった」と  
最期の時を迎えられる様  
日々努力していきたい。

ご清聴ありがとうございました